

平成28年2月2日

塾生各位

代表 岡 信太郎

小倉北道場だより (第7号)

今年初めての会報となります。本年もよろしくお祈り致します。本年が皆さまにとって実りある一年となるようにお祈りしています。

さて、今年の昇級昇段審査などの道場の予定をお知らせします。今年も年2回の審査を予定しています。次の級を目指して日頃の稽古に励んで下さい。

●小倉北道場 年間スケジュール (2016)

- 4月10日(日) 午前中 昇級昇段審査(小倉祥平塾との合同審査会)
小倉南武道場:北九州市小倉南区徳力二丁目10番1号
- 4月30日(土) 11:00 合気道 祥平塾 演武大会
福岡サンパレスホール:福岡市博多区築港本町2番1号
- 10月10日(月) 体育の日 講習会、昇級昇段審査、懇親会
本部道場長 菅沼守人師範
- 12月24日(土) 小倉北道場 発表会
小倉北道場:北九州市小倉北区昭和町15番16号

【 演武大会 参加者募集 】

合気道は競技化されておらず試合がありません。しかし、日頃の稽古の成果を披露する演武大会があります。今年は4月30日に福岡サンパレスホールにて演武大会が開催されます。

少年部、一般部とも参加は自由です。参加希望者は、2月29日までに代表者にお申し出下さい。

★★★ 昇級昇段審査について ★★★

少年部は保育園・幼稚園生は11級(準11級)から、小学生は10級(準10級)から始まります。級に応じて、段階的に帯の色が変わります。それぞれの帯の色は下記のとおりです。

準11級、11級	: 桃	準6級、6級、準5級、5級	: 緑
準10級、10級	: 赤	準4級、4級、準3級、3級	: 青
準9級、9級	: 橙	準2級、2級、準1級、1級	: 茶
準8級、8級、準7級、7級	: 黄	準初段、初段	: 黒

一般部は5級から始まります。帯の色に変化はありません。
*審査を受けるにあたって、稽古日数等の要件があります。それぞれの級に向けて日頃の稽古をしっかりと行いましょう。

合気道 祥平塾 小倉北道場



冬休み、子どもを連れて神戸市にあるアンパンマンミュージアムに行ってきました。福岡にできたのは知っていましたが、旅行先にあったのでこの機会にと行ってみました。

まずはその人の多さにびっくりしました。家族連れがいっぱい、多くのちびっ子に圧倒されました。中に入ってみると、アンパンマンやばいきんまん等、普段見慣れたキャラクターに至る所で会うことができました。遊ぶための遊具もあり、色々な所で歓声が上がっていました。また、アンパンマンショーで本物のアンパンマンに会えて、子ども達は大喜びでした。極め付けは、アンパンマン号に乗って髪を切ってもらう、子どものための床屋までありました。まさにアンパンマン尽くしでした。

さて、子ども達に大人気のアンパンマンですが私も最近大好きになっています。ドキンちゃんに恋したからではないですよ…。

実は、アンパンマンの作者やなせたかしさんの著書をいくつか読んで、やなせ先生がアンパンマンを世に送り出した意味を少し理解することができたからです。アンパンマンは先生が考える正義そのもののようです。どういうことかということ、本当の正義はお腹が空いている人を助けることができる人、悪であっても受け入れることができる人だと先生は言われてました。

確かに、アンパンマンは自分の顔を千切ってお腹が空いている友だちにあげますし、決してばいきんまんを徹底的に倒すことはありません。アンパンマンの世界では、善悪が調和して秩序が保たれています。そもそも、私たち人間の心にも善悪があり、その中で、いかに自分の利益を捨て他人のために行動できるかが大切になってきます。アンパンマンを見ているとそういった優しい気持ちが伝わってきます。

なぜこんな話をしたかということ、このアンパンマンの精神は合気道の精神と多くの点で共通していると感じたからです。合気道も相手との調和を最も大事にします。力任せに技をかけようとしても、上手くかけることができません。合気道には関節技などがありますが、あくまで人間の体の仕組みも踏まえ自然の流れに沿って極めていきます。無理なく稽古をすれば、怪我無く一生稽古を続けていくことができます。

また、稽古中は受けと取りとに分かれ、交代で練習をするので、やられる方、技をかける方、どちらの気持ちも分かるようになります。そして何より、相手が手を叩いたら技をかけるのを止め、相手を痛めつけることは決してありません。

この合気道の「強く・優しく」の姿勢がどこかアンパンマンのようです。合気道を通して、正義に対する考え方をしっかりと身に付けて頂けたら幸いです。

アンパンマンミュージアムの柱に、やなせ先生のサインを見つけました。2年前にやなせ先生は亡くなりましたが、その思いはこれからも子どもたちに引き継がれていくことでしょう…。

今回の禅の言葉

「少にして学べば壮にして為すこと有り。

壮にして学べば老いて衰えず。

老いて学べば死して朽ちず」

佐藤一斎 「言志四録」

意味：学んだことは次の年代で生きていく。

今回は、禅ではなく「言志四録」から選びました。江戸時代の学者である佐藤一斎が書いたもので、勝海舟や西郷隆盛など多くの人物に影響を与え、リーダーとしてのバイブルとなりました。

時間の使い方はとても重要です。時間を大切に、勉強を続けていくと必ず大成します。2016年、各人の関心を追求していきましょう。